



# 学校だより

2022年11月22日  
No. 7  
射水市立堀岡小学校  
校長 池田 亨

校庭の木々の紅葉も終盤を迎え、日増しに寒さがつのる毎日となりました。天気がよいと子供たちは、昼休みや長休みの時間にグラウンドに出て、雲梯にぶら下がって遊んだり、一輪車や竹馬、しっぽとり（鬼ごっこ）をしたりしています。また、北コリドールのソファに座って読書をしたり他学年の友達と会話を楽しんだりもしています。さらに児童集会に向けて練習をしたり、冬の朝活動に行くなわ跳びの練習をしている子供もいます。一人一人が目的意識をもって楽しく友達と活動している姿をほほえましく見守っています。

しかし、世の中では新型コロナの第8波の感染拡大が騒がれています。学期末に向けての活動が滞りなく行われるよう、引き続き新型コロナウイルス拡大防止のための学校や家庭での健康チェックやマスク着用、手指消毒、3密回避の徹底に努めていきます。子供たちの安心・安全のために、保護者や地域の皆様にも、ご理解と温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## なでしこ公開学習、学習発表会作品展示 11月5日(土)

堀岡小学校では、長年この時期に全校で「いのちの学習」をテーマに取り組んでいます。今回は、道徳の授業を通して、子供たちの発達段階や実態に応じて、家族や周りの人たちに支えられていることや自分に対する家族の思いや願いに気付いたり、食事の時の挨拶から命のつながりや尊さについて学んだりしました。さらに家族や周りの人、ものへの感謝の気持ちをもって、その支えや助けに응えていこうという気持ちももつことができました。保護者の皆様には、命のメッセージカードや子供たちへの手紙等のご協力をありがとうございました。



<1年かみさまからのおくりもの>



<2年 ええところ>



<3年 いただきます>



<4年ぼくの生まれた日 - ドラえもん - >



<5年 家族の紹介>



<6年 わたしはひろがる>

## 見守り支援隊の皆さんとの交流会 11月10日（木）

今年は各地区から10名の方に参加していただきました。子供たちは、日頃の感謝の気持ちを伝えようと学年ごとに手作りのプレゼントや出し物、クイズを通して交流を行いました。

PTA会長や支援隊の代表の方のメッセージから、不審者から被害にあわない「いかのおすし」や元気の出る挨拶についての話をしていただきました。子供たちを大切に思ってください地域の方の思いを感じ、学校でも引き続き指導をしていきます。今後とも子供たちの安全・安心な登下校を支えていただきますようお願いいたします。来年こそは、多数の方をお招きできることを願っています。



< 1年 メダルのプレゼント >

< 2年 ミラーのすてきなぼうし >

< 5年 ふれあいクイズ >

## お願い 子供たちの可能性を信じて～チャレンジ・チャンス～

先日、低学年の子供が「校長先生、見てください。」となわ跳びの二重跳びを見せてくれました。昨年はあまりできなくて、今はとてもリズムよく跳び、安心して見ることができます。「100回続けてできると三重跳びができるかもしれないよ。」と声をかけました。それから時々長休みやお昼の休み時間に練習している姿を見ます。中学年のある子供は、1学期全く一輪車に乗れませんでした。しかし2学期になり、グラウンドのトラックに沿って100m以上乗っているのを見せてくれました。どちらも友達と一緒に根気強く取り組んでいた成果です。2人の子供たちには、あきらめず挑戦し続けたことが成果につながったことや一人ではなく友達と一緒に取り組むことのよさを伝え、讃えました。

また、校長室で今年も昨年に引き続き思考大会に出場する高学年の子供と、初めて出場する子供と話をしました。出場の理由を聞くと「自分は面白くて興味があるから」「家の人に勧められ面白かったから」との返事でした。自分の力を試してみることの大切さを伝え、時間を見つけて練習するよう励ましました。

11月20日に「社会を明るくする運動射水推進委員会」の応募作品の表彰式がありました。本校でも作文の部、標語の部でそれぞれ1名が入賞を果たしました。その際、作文の受賞者が作文発表を行いました。多くの保護者や来賓の中で間違えずに一生懸命伝えようという気持ちが伝わってきました。読み終え、満足気な表情が印象的でした。

その子供にとって学校では、体験できないような貴重な経験をすることができたと思います。子供たち一人一人は、学校以外でも保護者の皆様のご理解とご支援でいろいろなことを経験する場があります。運動や学習の習い事、地域の活動、家の仕事、手伝い、宿題等に取り組む中で、目標をもって活動することの価値を話してください。また継続した取組の中で具体的に努力している姿や気持ちの大切さを子供たちに伝えていただければと思います。そうした積み重ねが、一人一人の子供が自他を尊重し、たくましく生きていく基盤（たくましく生きる力）となると思います。よろしくお願いいたします。